

問1 1549年に日本へキリスト教を伝えた、宣教師が所属していた団体を何という？

1. プロテスタント 2. イエズス会 3. ドミニコ会 4. フランシスコ会

問2 上杉謙信が本拠地とし、優れた統治能力で領土を広げた現在の都道府県はどこ？

1. 越後 2. 甲斐 3. 相模 4. 駿河

問3 鉄砲伝来が戦い方や城の築き方に大きな影響を与えた時代を何という？

1. 鎌倉時代 2. 江戸時代 3. 安土桃山時代 4. 戦国時代

問4 戦国時代、上杉謙信が武田信玄と何度も激しく争った戦いを何という？

1. 関ヶ原の戦い 2. 桶狭間の戦い 3. 川中島の戦い 4. 長篠の戦い

問5 本能寺の変で信長が倒れたという報せを受け、備中高松城から即座に引き返して明智光秀を討った武将は誰？

1. 徳川家康 2. 羽柴秀吉 3. 明智光秀 4. 織田信長

問6 日本に鉄砲が伝わったのは西暦何年？

1. 1543 2. 1600 3. 1603 4. 1549

問7 桶狭間の戦いで今川氏が衰退したことをきっかけに、独立して勢力を伸ばした武将は誰？

1. 織田信長 2. 豊臣秀吉 3. 徳川家康 4. 今川義元

問8 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武将は誰？

1. 武田信玄 2. 豊臣秀吉 3. 徳川家康 4. 織田信長

問9 戦国大名が自らの領国を治めるために、家臣や領民の行動を細かく定めた独自法を何という？

1. 武家諸法度 2. 分国法 3. 公事方御定書 4. 御成敗式目

問10 「甲州法度之次第」を制定したことで知られる、戦国時代の有力な大名は誰？

1. 武田信玄 2. 毛利元就 3. 北条氏康 4. 上杉謙信

問11 1582年、織田信長が天下統一を目前にして明智光秀の襲撃を受け、自害に追い込まれた事件を何という？

1. 応仁の乱 2. 賤ヶ岳の戦い 3. 本能寺の変 4. 山崎の戦い

問12 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？

1. 柴田勝家 2. 前田利家 3. 羽柴秀吉 4. 明智光秀

問13 戦国大名が家臣や領民を統制するために制定した、独自の法律を何という？

1. 御成敗式目 2. 分国法 3. 武家諸法度 4. 公事方御定書

問14 鉄砲伝来をきっかけに日本とヨーロッパ諸国との間で行われた貿易を何という？

1. 南蛮貿易 2. 日明貿易 3. 遣唐使 4. 朱印船貿易

問15 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 足利義昭 2. 武田信玄 3. 今川義元 4. 豊臣秀吉

問16 戦国大名が、領国内での勝手な勢力拡大を防ぐために制限した行為を何という？

1. 刀狩 2. 検地 3. 兵農分離 4. 築城

答え合わせ・解説

問1	答え 2 イエズス会	フランシスコ・ザビエルに代表されるイエズス会の宣教師たちは、アジア各地での布教を進め、1549年に日本へ到着しました。彼らは南蛮貿易とともに、キリスト教の教えを各地の大名や民衆へ広めていきました。
問2	答え 1 越後	上杉謙信は、この越後を本拠地として、卓越した軍事力と統治力で領土を拡大しました。家臣団をまとめ上げ、民衆の生活を安定させることで強固な地盤を築き、「越後の龍」として恐れられました。
問3	答え 4 戦国時代	この時代に伝来した鉄砲は、それまでの弓矢を主とした戦い方を一変させました。防御力の高い石垣を持つ城が必要となり、築城技術も大きく進化した。織田信長などの強力な指導者がこれらを取り入れることで、効率的な軍事編成が可能になりました。
問4	答え 3 川中島の戦い	1553年から1564年までの間に、両者は信濃の川中島付近で5回にわたり激突しました。特に第4回目の戦いが最も激戦だったとされており、両軍合わせて多くの犠牲者を出しました。互いに実力を認め合うライバル同士の戦いとして有名です。
問5	答え 2 羽柴秀吉	1582年、毛利方の備中高松城を包囲していた秀吉のもとに、本能寺の変の知らせが届きました。秀吉は驚異的な速さで引き返し、山崎の戦いで光秀を破りました。この勝利により、秀吉は織田政権内での影響力を圧倒的なものにしました。
問6	答え 1 1543	1543年、種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えました。当時の領主であった種子島時堯がこれを受け、すぐさま国内での国産化に成功しました。
問7	答え 3 徳川家康	1560年の桶狭間の戦いで主君である今川義元が織田信長に討たれると、混乱に乗じて三河（現在の愛知県東部）を本拠地として独立を果たしました。信長とは同盟を結び、協力関係を築きながら勢力を拡大していきました。
問8	答え 4 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問9	答え 2 分国法	分国法は、大名が領国内の平和と秩序を守るために制定した法律です。家臣同士の争いを禁じる「喧嘩両成敗」や、土地に関する紛争のルール、納税の決まりなどが記載されていました。
問10	答え 1 武田信玄	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。また、領内の金山開発や治水工事を積極的に行い、領民の支持を集めました。
問11	答え 3 本能寺の変	1582年、中国地方の毛利攻めに向かっていた部下の明智光秀が、京都の本能寺に滞在していた信長を突如襲撃しました。信長はこの戦いで自害に追い込まれました。
問12	答え 4 明智光秀	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。逃げ場を失った信長は自害し、天下統一を目前にしていた信長の命はここで断たれました。この事件は「本能寺の変」と呼ばれます。
問13	答え 2 分国法	分国法は、大名が領国内の家臣や領民を統制し、社会秩序を維持するために制定した独自の法律です。ケンカの仲裁や年貢の徴収など、領地内の細かいルールが定められていました。
問14	答え 1 南蛮貿易	日本が南蛮人（ヨーロッパ人）との間で開始した貿易です。鉄砲や火薬、キリスト教のほか、時計、眼鏡、タバコなどの新しい文化が流入しました。日本からは銀や工芸品が輸出され、経済の活性化に大きな役割を果たしました。
問15	答え 3 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問16	答え 4 築城	戦国大名は、分国法の中で家臣が勝手に城を建てる「築城」を厳しく制限しました。これは、家臣が勝手に防御拠点を築いて独立したり、反乱を起こしたりすることを未然に防ぐためです。